

## 会 議 録

会議の名称		令和7年度第3回秀峰筑波義務教育学校 コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和8年2月20日（金）開会 14:30 閉会 16:30		
開催場所		つくば市立秀峰筑波義務教育学校会議室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	土子 光之、山口 里香、飯村 仁、白石 通、 古平 恒雄、大里 庄受、梅沢 尊信、矢島 祐介 尾見 裕史、鈴木 剛、小河原 一幸 小野 裕子、永岡 歩美		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習課 参事：山口 健次 教育局生涯学習課 社会教育主事：村上 和宏 教育局生涯学習課 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		「学校評価結果をふまえたコミュニティ・スクール活動の充実について」		
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 前回の議事確認 4 授業参観 ※5の(1)(2)の間に実施 5 協議 (1) 令和7年度後期の学校の主な教育活動について (2) 第2回学校評価結果について (3) 熟議 テーマ「学校評価結果をふまえたコミュニティ・スクール活動の充実について」 (4) その他 ・地域からのお知らせ等 6 閉会			
<審議内容> 1 開会 土子副会長：ただ今から、令和7年度第3回秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール協議会を開会します。会議の記録は、小野教頭先生にお願いしたい。				

## 2 挨拶

土子副会長：最初に、古平会長から御挨拶をお願いしたい。

古平会長：先日の防災イベントは、児童生徒にとって防災についての貴重な体験になった。アルミ缶でごはんを炊くブースの手伝いをしたが、当日は風が強くてなかなか火がつかず、時間がかかってしまった。ボランティアも初めなかなか見つからないなど課題が残ったので、次年度は工夫していきたい。

土子副会長：続きまして、鈴木委員より御挨拶をお願いしたい。

鈴木委員：校長が出張のため、代理で挨拶したい。本校の児童生徒が参加する、初めての防災イベントを先日行うことができた。初年度としてはとてもよい取組となった。特に、後期課程の生徒が地域のブースに入って、地域のお手伝いをする形で実施できた。地域の力が子供たちの力を引き出してくれた。来年度、さらに充実させていきたい。

## 3 前回の議事確認

古平会長：協議に入る前に、第2回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをします。別紙の会議要項を御覧いただきたい。前回の要点をまとめると、

- ① 6月以降の学校の主な教育活動について
  - ② 「地域と学校の連携事業」予算計画について
  - ③ 熟議「筑波地区防災イベントの充実のために」話し合いを深めた。
- なお、詳細については、別紙の会議録を御覧いただきたい。

## 4 協議

### (1) 令和7年度後期の学校の主な教育活動について

古平会長：続いて協議に移りたい。まずは、第2回の協議会を開催した10月はじめからこれまでの本校の主な教育活動についての御報告を永岡委員からお願いしたい。

永岡委員：スライドを基に説明

～後期課程の秀峰祭に向けた合唱指導、6学年交通安全教室、秀峰祭、8年生から7年生へ職場体験プレゼン（異学年交流）、生教育講演会、6年・9年薬物乱用防止教室、児童生徒会選挙、防災イベント、ビジョンコネクトシート（教員の教育活動振り返り）～

古平会長：ただいまの件について、御意見や御質問があればお願いした

い。

参加委員：特になし

古平会長：ここで一度、協議を中断し、授業参観を行う。

※授業参観～4年授業・6年部活動見学～

(2) 第2回学校評価結果について

古平会長：それでは改めて協議を再開する。第2回学校評価結果について、小河原委員から説明をお願いしたい。

小河原教頭：スライドを基に説明

～評価結果から見える3つの重要なポイントの結果報告～

古平会長：ただいまの件について、御意見や御質問があればお願いしたい。

白石委員：評価の対象者に、地域が入っていないのはなぜか。

小河原委員：児童生徒、保護者はアンケートの回収がしやすい、アンケートの回収が課題である。

生涯学習推進課酒井指導員：CSで地域に広げてもらうことはできそうか。

白石委員：うまくネットワークが組めれば、区長、民生委員（全地域にいる）、主任児童委員も対象に加えてはどうか。地域・福祉の立場での評価も加えるとよい。

(3) 熟議 テーマ「学校評価結果をふまえたコミュニティ・スクール活動の充実について」

古平会長：続いて、熟議に入る。熟議の進行は、鈴木委員をお願いしたい。

鈴木委員：①地域の学校評価も入れていただきたい説明

②グループで協議

③各グループの協議した内容を発表

【協議した内容の発表】

●Aグループ

- ・人材バンク…寺子屋、あいさつ活動、学校サポーター
- ・共通体験 …安心して挨拶ができる環境を地域で作る。
- ・地域愛 …顔の見える学びができると良い。

●Bグループ

- ・回答率を上げるには…結果を分かりやすい形で返すこと。
- ・地域の意見を学校評価アンケートに入れる。

・地域人材を学校に招待したい。

●Cグループ

・読み聞かせの本、学校で選べないか（⇒学校で続きを読もうとする仕掛けを）

・ボランティアを募って廃品回収をしてはどうか。

・CSと地区委員の紐づけをしたい。

鈴木委員：来年度、学校活動を充実させていきたい。

古平会長：ただいまの熟議について、委員の皆様から御意見などはあるか。

白石委員：来年度の委員の体制について、人数は増やせるのか。

民生委員、主任児童委員、区長は学校と連携を図りたい気持ちが強い。

鈴木委員：新たな委員、地域コーディネーターなど、御紹介いただきたい  
生涯学習推進課 村上社会教育主事：

つくば市CSガイドライン、アンケートの配布

子供たちが熟議に参加すること、大学生や卒業生など若い人材がCS委員になる例について説明があった。

(4) その他

古平会長：最後に御出席のみなさんから何かあるか。

5 閉会

古平会長：本日の「協議」は以上である。本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたい。

土子副会長：以上をもって、令和7年度第3回秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール協議会を閉会する。

令和7年度第3回

秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール協議会

日時：令和8年2月20日（金）

14:30～

場所：会議室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 前回の議事確認

4 授業参観

5 協 議

(1) 令和7年度後期の学校の主な教育活動について

(2) 第2回学校評価結果について

(3) 熟議 テーマ「学校評価結果をふまえた

コミュニティ・スクール活動の充実について」

(4) その他

・地域からのお知らせ等

6 閉 会

## 会 議 録

会議の名称		令和7年度第2回秀峰筑波義務教育学校 コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和7年10月3日（金）開会 13:30 閉会 15:30		
開催場所		つくば市立秀峰筑波義務教育学校会議室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	土子 光之、山口 里香、白石 通、矢口 義勝、 古平 恒雄、大里 庄受、梅沢 尊信、遠藤 知昭 尾見 裕史、鈴木 剛、小河原 一幸、小野 裕子、永岡 歩美		
	その他			
	事務局	教育局 次長：柳町 優子 教育局生涯学習推進課 係長：飯島 遊 教育局生涯学習推進課 社会教育主事：村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議 テーマ「筑波地区防災イベントの充実のために」		
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 前回の議事確認 4 協議 (1) 6月以降の学校の主な教育活動について (2) 「地域と学校の連携事業」予算計画について (3) 熟議 テーマ「筑波地区防災イベントの充実のために」 (4) その他 ・地域からのお知らせ等 5 授業参観 ※4の(1)(2)の間に実施 6 閉会			
<審議内容>				
1 開会 副会長：ただ今から、令和7年度第2回秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール協議会を開会します。会議の記録は、小野教頭先生にお願いします。				

## 2 挨拶

副会長：続いて、会長の挨拶です。古平会長お願いします。

会長：8月23日にコミュニティ・スクールの研修会に参加させていただきました。その時の資料を配布させていただきましたので、後ほど目を通していただければと思います。「地域×学校これからの未来を創造」「地域も学校も共に活性化するためにコミュニティ・スクールはどうあるべきか」の答申という資料になります。こちらの答申については、後ほど生涯学習推進課からお話をいただきますので、よろしくお願いします。

副会長：続きまして、学校長挨拶です。尾見校長お願いします。

校長：来週で1学期が終了し、年度の折り返しを迎えることとなります。この機会を通して保護者との連携を強めながら、子供たちを育てていきたいと考えております。前回のコミュニティ・スクール協議会で御提案いただいた退職校長会を活用しての授業研修を12月初旬にできないかと考え、調整しているところです。そんな形でもコミュニティ・スクール協議会委員の皆様にご協力いただきながら、先生方の力、子供たちの力を伸ばしていけるような教育をこれからも続けてまいりたいと思います。

## 3 前回議事確認

会長：協議に入る前に、第1回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをします。別紙の会議要項を御覧ください。前回の要点をまとめます。

- ① 委員の自己紹介及び会長、副会長選出
- ② 学校グランドデザイン説明と教育活動紹介
- ③ 熟議「キャリア教育の一環として、『職業講話』『職業体験』ができる学区の人材、事業所について」の話合いを深めました。

なお、詳細については、教育委員会のホームページに掲載されますので御確認ください。

## 4 協議

会長：続きまして協議に移ります。まずは、第1回の協議会を開催した6月はじめからこれまでの本校の主な教育活動についての御報告を鈴木副校長先生からお願いします。

副校長：本来ならば永岡教務からの説明になるため、順番を入れ替えさせていただきます。「地域と学校の連携事業の予算計画」こちらを先に進めさせていただきたいと思います。

(2) 「地域と学校の連携事業」の予算計画について

副校長：予算化計画概要について資料を基に説明

例えば、

- ・職業講話、職業体験等・・・講師謝礼、必要な消耗品の購入、事業所までの移動のバス代等

- ・防災イベント・・・イベント委託、防災食等

- ・退職校長会による授業見守り・・・謝礼、必要な消耗品の購入等義務教育学校のため、2校分の予算が付いている。

※項目ごとの具体的な金額振り分けについても説明

会長：ただいまの件につきまして、御意見や御質問があればお願いします。

参加委員：特になし。

会長：それでは、この予算計画に従って、進めていただけるようお願いいたします。

副校長：授業参観前に、熟議の「防災イベント」について、触れさせていただきます。「令和7年度第1回筑波圏域地域支えあい会議」という資料がございます。こちらの会議を通して、筑波地区の防災イベントは運営されます。9月4日、本校の代表として参加させていただきました。筑波地区防災イベントは令和8年1月31日（土）に開催が決定しました。この日を授業日に充てることで、全児童生徒の参加とします。また、昨年度の「筑波地区防災イベントのチラシ」を参考に、今年度は何ができるか、御意見を後ほどの熟議でいただければと思います。

会長：ここで一度、協議を中断し、授業参観を行います。授業参観について、小河原教頭から説明をお願いします。

小河原教頭：教室参観の用紙のとおり、1年、4年、8年の順に御案内します。

※授業参観

(1) 6月以降の学校の主な教育活動について

会長：それでは改めまして協議を再開いたします。6月以降の学校の主な教育活動について、永岡教務から説明をお願いします。

永岡教務：スライドを基に説明

生徒総会、市総合体育大会、男子バレー関東大会、避難訓練（竜巻、引渡訓練）、クラスター活動、異学年交流のつくスタ、夏季休業中の職員研修、市新人体育大会壮行会、9年生の保育授業（保幼小交流も兼ねて）、つくばの学び推進訪問、学力・学習状況調査の結果報告等について説明

会長：ただ今の件につきまして、御意見や御質問があればお願いします。

参加委員：特になし。

(3) 熟議 テーマ「筑波地区防災イベントの充実のために」

会長：続いて、熟議に入ります。熟議の進行は、鈴木副校長にお願いします。よろしくお願いします。

副校長：①「筑波地区防災イベント」について説明

②イベントの充実に向けて、グループで協議

③各グループの協議した内容を発表

【協議した内容の発表】

●Aグループ

- ・20のブースを屋内で行うものと屋外で行うものに分け、場所を有効活用したい。  
グラウンドも使える、ブースの広さは1教室では狭い。
- ・小グループ（5～6人）で移動が効率よい、低学年は引率ボランティアを募る、退職校長会等のボランティアを活用する。
- ・簡易トイレ、段ボールベットの体験等は実際の時に有効だろう。アリーナで実施したい。
- ・緊急車両（はしご車、白バイ、パトカー等）展示
- ・アルミ缶でご飯を炊こうは火を使うので4～6年中心で、1～3年は新聞紙でスリッパ作りをさせたい。
- ・秀峰の児童生徒分、参加人数が大幅に増えるので、一般の方の駐車場等をどう確保するかが課題になる。
- ・後期課程がブースの補助をするなら、事前に学ぶ場を設ける必要がある。

●Bグループ

- ・昨年度は、20のブースがあり、子供たちがわくわくする内容が多かった。
- ・子供たちが主体となって発信できる場があるとよい。（防災バックをつくろう、タイムライン等、今行っている学習の発信の場）
- ・保護者を招いて実施となると、駐車場の確保が課題である。グラウンドやおはよう広場、扇方駐車場は埋まる。外の体験ブースのスペースが十分に取れなくなってしまう。

- ・人的な配置が課題、地域やボランティア、保護者への依頼を早めに行う。
- ・次年度は子供たちが主体となって、地域の方を招いて行う形になるとよい。

●Cグループ

- ・防災イベント主催者側の白石委員より、令和6年度までの防災イベント実施の経緯を説明  
(100～150名の参加者のうち、秀峰筑波の児童生徒は30～40名しかいなかったもので、学校と一緒にやりたいと思っていた、令和6年度までの200人規模から令和7年度は1000人規模のイベントになる。主催者側としてわくわくドキドキしている。)
- ・防災倉庫、避難はしご、消火栓等、防災イベントの際に点検し、児童生徒に認識してもらおう機会とする。できればデモを行うブースを秀峰筑波で設けてみる。
- ・児童生徒のブースの回り方としては、縦割りの班を活かしたり、学年ごとにつくった小グループに7・8年生が2～3人ずつ入り引率したりする、7・8年生もその場で体験する。
- ・班ごとに、どこをどのように回るかの、タイムスケジュールがあるとよい。
- ・スリッパづくりとかであれば、児童は動かさず、講師がその教室に入って体験等もできる。7・8年生にはその教室の補助に入る。

会長：鈴木副校長、ありがとうございました。では続きまして、資料でお配りしました、「地域も学校も共に活性化するためにコミュニティ・スクールはどうあるべきか」について、生涯学習推進課よりお願いします。

生涯学習推進課：育てたい子供像について、コミュニティ・スクール協議会で話し合い育てたい子供像に向けての必要な活動を地域学校協働活動として、具現化することが大切である。

- ① 持続可能な体制づくりについて（教職員中心の運営から地域住民を中心とした運営へ）
- ② 地域と学校の信頼関係の構築について（地域と学校の情報交換を密に）
- ③ 地域人材との連携（地域住民が「できることを無理なく」支援し活動しやすい緩やかな組織体の構築）

(4) その他

会長：最後に御出席のみなさんから何かありますでしょうか。

白石委員：小田協議会、旧小田小学校をコミュニティセンターとして活動

夏休み宿題教室等、地域で児童生徒とつながる活動について紹介

会長：次回の開催予定日等について鈴木副校長、よろしくお願いします。

副校長：次回は令和8年2月20日（金）13時30分からの予定です。詳細は、追って御連絡いたします。

5 授業参観※4の(1)(2)の間に実施

6 閉会

会長：本日の「協議」は以上になります。また、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思っております。差し支えのある場合は事務局までお申し出ください。よろしくお願いします。

副会長：以上をもちまして、令和7年度第2回秀峰筑波義務教育学校コミュニティ・スクール協議会を閉会いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いします。